

## 常設展示

### 商品



当初は貿易商品のサンプルと商品の原材料標本が収集されましたが、その後、地方物産品の収集がはじまり、現在では陶磁器、漆器、染織品などの伝統的工芸品を展示しています。かつて秘密のペールに隠されていた原材料と製造過程は、価格形成上の要因として付加価値を示す根拠でもあります。展示では、卓越した職人技と地域色に価値付けられた少量・多品種による高付加価値商品としての現状を紹介しています。

### 刑事



過去にあった残酷で非人間的な拷問や刑罰を批判的な視点から回顧し、法と刑罰の歴史を学び、現代の法と社会を考えるきっかけとするために古代から近世にかけての刑法典や江戸時代の警察・裁判・刑罰にかかわる資料を紹介しています。御成敗式目、今川仮名目録など著名な刑法典の数々をはじめ、高札、長柄三道具や十手・捕り縄など江戸時代の捕者道具と、取調べの過程で使用された拷問具、刑罰具や近代の死刑具、さらには海外の刑罰具などの復元資料も展示しています。

### 考古



日本列島における旧石器時代の存在をはじめ証明した1949年岩宿遺跡の発掘以降、日本考古学の発展に貢献した明治大学による調査研究の歩みとその成果の数々を展示しています。岩宿遺跡出土石器(重文)、旧石器集落を明らかにした砂川遺跡出土石器(重文)、縄文時代の年代観を大きく変えた夏島貝塚出土遺物(重文)、遮光器土偶、稲作開始期の板付式土器、深草遺跡の石包丁、出流原遺跡の再葬墓資料(重文)、玉里舟塚古墳の大型埴輪群(写真)など見どころ満載です。

## 明治大学博物館友の会

講演会、見学会、自主学習会などを開催するとともに、明治大学博物館のパートナーとして各種ボランティア活動を展開しています。

詳しくはこちら



## 来館案内

**開館時間** 月曜～金曜 10:00～17:00(入館は16:30まで)  
土曜 10:00～16:00(入館は15:30まで)  
**休館日** 日曜・祝日 夏季休業期間(8/1～9/19)の土曜  
1/17 8/10～16 11/1 12/26～1/7  
**観覧料** 無料  
**交通** JR御茶ノ水駅徒歩5分 地下鉄新御茶ノ水駅徒歩8分  
地下鉄神保町駅徒歩10分  
**住所** 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1  
明治大学アカデミーコモン地下1階 博物館  
TEL03-3296-4448 ホームページは  
FAX03-3296-4365 はこちら



## オンラインコンテンツのご案内

### ● 明治大学博物館ONLINEミュージアム

展示室を  
あるく

じっくり  
見る

展示会  
アーカイブ



いつでも、どこでも、バーチャルミュージアムをお楽しみください

### ● 明治大学デジタルアーカイブ

所蔵する609件のデジタル画像をオンライン上で公開  
しています



### ● Mm×おうちミュージアム

資料解説の動画をはじめとするコンテンツ  
を公開中です



### ● SNSによる情報発信も充実!



# 明治大学博物館 展覧会案内 2024

Exhibition Program of Meiji University Museum



## 明大スポーツ新聞 創刊70周年記念特別展示

スポーツの原点は「ホイスルにはじまり、ホイスルにおわる。」

観覧  
無料

2月5日(月)～3月16日(土)

主催:明治大学体育会明大スポーツ新聞部、明大スポーツ新聞部OB会明和会

1953(昭和28)年、明大スポーツ新聞は独立自治の精神で、大学スポーツ新聞の先駆けとして創刊されました。記録だけにとどまらない、学生目線による体育会各部の活躍を綴り続けて70年。その歩みを一堂に会します。ルールに則ったスポーツの原点であるホイスル。「大学スポーツの意義と魅力を発信し、その価値を高める」ために、古稀を迎えた明スポはこれからも、明治大学のオピニオンリーダーとして邁進を続けます。



現存する創刊号(右)と  
今回デジタル技術で  
復元した創刊号(左)

## 新収蔵・収蔵資料展2024

観覧  
無料

11月11日(月)～12月14日(土)

主催:明治大学博物館

2022・2023年度の購入資史料・関連収蔵資料の公開を主な目的として考古部門からは「女子埴輪頭部」(伝茨城県出土)、刑事部門からは錦絵「山門豪傑双録」などを展示します。また、商品部門はテーマ展「記録写真にある資料」を行います。

「山門豪傑双録」部分(豊原国周)



## 連続テレビ小説 「虎に翼」展

2024年  
3月25日(月)～10月28日(月)

主催:NHK財団  
会場:特別展示室I

観覧  
無料

2024年春から連続テレビ小説「虎に翼」が放送されます。

主人公は、日本初の女性弁護士で後に裁判官となった一人の女性。彼女とその仲間たちは困難な時代に道なき道を切り開き、迷える子どもや追いつめられた女性たちを救っていく——情熱あふれる法曹たちの物語を極上のリーガルエンターテインメントとして贈ります。

本展示では、「番組紹介パネル」や番組小道具、劇中衣装、出演者全身パネル、セット再現などを通して、連続テレビ小説「虎に翼」の世界をお届けいたします。



## 女性法曹養成機関の パイオニア

— 明治大学法学部と女子部 —

2024年 3月25日(月)～10月28日(月)

主催:明治大学史資料センター  
会場:特別展示室II

観覧  
無料

大学史資料センター(所長・村上一博法学部教授)では、日本初の女性弁護士を輩出した明治大学法学部および専門部女子部(1929年設置)と、その卒業生について紹介する展覧会を開催します。

明治大学は、いち早く法学を志す女性に門戸を開くため、1929(昭和4)年4月に専門部の一部門として女子部を設置し、1931(昭和6)年には女子部の卒業生に対して明治大学が設置する学部への入学を認めました。その結果、女子部と法学部で学んだ女子学生のなかから、三淵嘉子、中田正子、久米愛という3名の日本初の女性弁護士が誕生し、その後もしばらくは、女性弁護士の多くが明治大学女子部と法学部で学んだ者たちで占められました。

本展覧会をきっかけに、日本における女性法曹養成のさきがけとなった明治大学法学部および女子部、またその卒業生の活躍について、ひろく知っていただければ幸いです。



明治大学出身で日本初の女性弁護士となった三淵嘉子

表紙写真 上:旧記念館(1931年) 下:女子部校舎(1929年)